

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本医学柔整鍼灸専門学校
設置者名	学校法人 敬心学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	柔道整復学科 昼間部 (3年制)	夜・通信	63 単位	3 × 3 = 9 単位	
	柔道整復学科 夜間部 (3年制)	夜・通信	59 単位	6 単位	
	鍼灸学科 昼間部 (3年制)	夜・通信	51 単位	3 × 3 = 9 単位	
	鍼灸学科 夜間部 (3年制)	夜・通信	53 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に記載：下記 URL を参照 https://www.nihonisen.ac.jp/school/evaluation.php
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本医学柔整鍼灸専門学校
設置者名	学校法人 敬心学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に記載：下記 URL を参照
<https://www.nihonisen.ac.jp/school/evaluation.php>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立大学 理事長	2022. 5. 28 ～ 2025. 5. 27	学園経営アドバイザー
非常勤	弁護士、私立大学法学部 教授	2022. 5. 28 ～ 2025. 5. 27	法務関係アドバイザー
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本医学柔整鍼灸専門学校
設置者名	学校法人 敬心学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (柔道整復学科 昼間部 (3年制)、柔道整復学科 夜間部 (3年制)、鍼灸学科 昼間部 (3年制) 鍼灸学科 夜間部 (3年制))	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(以下、シラバス)の作成について 各科目のシラバスに一般目標(G I O)、行動目標(S B O)を設定・記載し、各目標に則した科目概要及びコマシラバスが確認できるレイアウトとしている。また、成績評価割合についても評価方法及びその割合を明示している。上記シラバスを昼/夜間部、各学科、各学年に分けてウェブ上で確認できるようにしている。 ・シラバスの公表について 翌年度の講義予定(授業計画)は12月から担当教員が作成し、2月の教務委員会で正式に決定する。 学校HP上にシラバス閲覧ページを設置している。(下記URL参照) 	
授業計画書の公表方法	https://www.nihonisen.ac.jp/school/evaluation.php
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・各科目の試験作成時において、毎年各学科、実技/講義科目ごとに試験実施要項を作成、配信することで試験作成内容の適正化、明確化に努めている。また、筆記試験においては教務確認+学科確認を欠かさず行い、誤植防止や難易度の平準化を図っている。実技試験においては事前に試験内容を担当教員に提出いただき、内容、及び試験評価基準の明確化を図っている。 ・学生は学生用のポータルに掲載されている学生便覧で成績評価基準について確認することができる。 また、シラバスでは各科目の成績評価内容及び割合を確認することができる。 ・尚、授業科目の講義数のうち、出席が2/3以下の学生については、その成績評価の対象としない。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学期末の試験終了後に各科目の評価を確定し、G P Aを算出している。 当校では各授業の評価を100点満点とし、100～90をAA、80～89をA、70～79をB、60～69をC、0～59をDとして最終評価を行う。 GPAの算出はAAを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点、Dを0点に置き換え、AAの授業数×4+Aの授業数×3+Bの授業数×2+Cの授業数×1の合計を履修済みの総授業数で除した数として求める。 成績結果は各学生へ各学期末に学生ポータルサイトにて公表している。また、成績一覧及びG P A分布を各学年担任及び学科会議内で共有することで、学生の知識習得状況の把握できる環境を整えている。また、その情報をもとに学生への面談や各種補講を都度実施することで、学習状況の改善に努めている。 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.nihonisen.ac.jp/school/evaluation.php</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本医学柔整鍼灸専門学校は「自ら考え行動する医療人」として学生自らが興味をもって自発的に学習し、人々から信頼される医療人として相応しい知識・技能・態度を身に付けた者に卒業を認定し、専門士を授与する。 卒業要件については、開講される全ての単位を修得する事により、本校所定の課程を全て修了した者とし、卒業証書を授与する。 卒業認定にあたっては3年次最終定期試験終了後、卒業判定会議にて最終単位取得状況を確認し、厳格な審査の上で認定している。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.nihonisen.ac.jp/school/evaluation.php</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本医学柔整鍼灸専門学校
設置者名	学校法人 敬心学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に記載：下記 URL を参照 https://www.nihonisen.ac.jp/school/evaluation.php
収支計算書又は損益計算書	//
財産目録	//
事業報告書	//
監事による監査報告（書）	//

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,750 時間	1,708 時間	時間	180 時間	時間	862 時間
単位時間／単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		138人	4人	10人	32人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>1年次では勉強の学習習慣を身に付けるため、科目毎で課題を出し、毎週学習会を行っている。</p> <p>また、随時教員による面談や学習指導も行っており、授業理解状況を把握するための実力試験も定期的実施している。</p> <p>さらに、授業外プログラム（ゼミ）を設置し、意欲的学生の学修支援も積極的に行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 (100%)	0人 (0%)	33人 (94.2%)	2人 (5.7%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>接骨院、整形外科、介護施設</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>学内にキャリア支援センターを設置。年4回合同企業説明会を実施。履歴書添削、面接対策なども随時行っている。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>柔道整復師免許</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
130人	5人	3.8%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習面や家庭環境の変化、経済的な理由による</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠情報、面談情報を全て学籍管理システムに蓄積し活用している。 ・担任・副担による早期および複数回の面談を実施している。 ・WEB出席簿、ポータル配信を用いて、学生や保護者にも状況の把握・確認を促している。 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,750 時間	1,708 時間	時間	180 時間	時間	862 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		142人	2人	10人	32人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
学修支援等
（概要） 1年次では勉強の学習習慣を身に付けるため、科目毎で課題を出している。 また、随時教員による面談や学習指導も行っており、授業理解状況を把握するための 実力試験も定期的実施している。さらに、授業外プログラム（ゼミ）を設置し、意 欲的学生の学修支援も積極的に行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	3人 (7.3%)	35人 (85.4%)	3人 (7.3%)
（主な就職、業界等） 接骨院、整形外科、介護施設			
（就職指導内容） 学内にキャリア支援センターを設置。年4回合同企業説明会を実施。 履歴書添削、面接対策なども随時行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師免許			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
141 人	5 人	3.5%
(中途退学の主な理由) 学習面や家庭環境の変化、経済的な理由による		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・出欠情報、面談情報を全て学籍管理システムに蓄積し活用している。 ・担任・副担による早期および複数回の面談を実施している。 ・WEB 出席簿、ポータル配信を用いて、学生にも状況の把握・確認を促している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,655 時間	1,520 時間	275 時間	180 時間	時間	680 時間
単位時間／単位							
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180 人	193 人	2 人	14 人	20 人	34 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
学修支援等
(概要) 授業内容の確認、国家試験への意識付けのために毎週末に授業時間外で四択問題を行っている。また、週 2 回「早期国家試験教室」を授業時間外に実施し、講義内容の修得状況、週末の四択問題の解き方、勉強の仕方等についての支援を行っている。 その他、随時担任教員に相談受付、進路指導等の支援も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
53人 (100%)	9人 (17.0%)	38人 (71.7%)	6人 (11.3%)
（主な就職、業界等） 鍼灸整骨院、鍼灸院			
（就職指導内容） 学内にキャリア支援センターを設置。年4回合同企業説明会を実施。 履歴書添削、面接対策なども随時行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） はり師免許、きゅう師免許			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
184人	5人	2.7%
（中途退学の主な理由） 学習面や家庭環境の変化、経済的な理由による		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・出欠情報、面談情報を全て学籍管理システムに蓄積し活用している。 ・担任・副担による早期および複数回の面談を実施している。 ・WEB出席簿、ポータル配信を用いて、学生にも状況の把握・確認を促している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,655時間	1,520 時間	275 時間	180 時間	時間	680 時間
単位時間／単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		196人	0人	15人	21人	36人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法

<p>(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照</p>
学修支援等
<p>(概要) 授業内容の確認、国家試験への意識付けのため、毎週末に授業時間外で四択問題を行っている。また、ノートテイキング制度を設け、欠席者でも講義内容が確認できるよう、学修支援を行っている。 その他、随時担任教員による相談受付、進路指導等の支援も行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
61人 (100%)	2人 (3.3%)	55人 (90.2%)	4人 (6.6%)
<p>(主な就職、業界等) 鍼灸整骨院、鍼灸院</p>			
<p>(就職指導内容) 学内にキャリア支援センターを設置。年4回合同企業説明会を実施。 履歴書添削、面接対策なども随時行っている。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）) はり師免許、きゅう師免許</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
199人	6人	3.0%
<p>(中途退学の主な理由) 学習面や家庭環境の変化、経済的な理由による</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠情報、面談情報を全て学籍管理システムに蓄積し活用している。 ・担任・副担による早期および複数回の面談を実施している。 ・WEB出席簿、ポータル配信を用いて、学生にも状況の把握・確認を促している。 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復学科 昼間部 (3年制)	(第1学年のみ) 20万円	125万円	15万円	
柔道整復学科 夜間部 (3年制)	(第1学年のみ) 20万円	125万円	10万円	
鍼灸学科 昼間部 (3年制)	(第1学年のみ) 20万円	125万円	10万円	
鍼灸学科 夜間部 (3年制)	(第1学年のみ) 20万円	125万円	10万円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 前年度評価について、学校HPで公開している https://www.nihonisen.ac.jp/school/evaluation.php		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、年2回の委員会で教育内容や学校運営について評価を行っている。評価内容は次年度以降の改善に役立っている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
接骨院 院長	2023年9月1日～ 2025年8月31日	卒業生
株式会社 代表取締役	2023年9月1日～ 2025年8月31日	業界関係者
株式会社 代表取締役	2023年9月1日～ 2025年8月31日	業界関係者
株式会社 代表取締役	2023年9月1日～ 2025年8月31日	業界関係者
株式会社 代表取締役	2023年9月1日～ 2025年8月31日	学校運営に関する専門家
公益社団法人 副会長	2021年9月1日～ 2023年8月31日	業界関係者
東洋医学系業界団体 代表	2021年9月1日～ 2023年8月31日	業界関係者
株式会社 代表取締役	2023年9月1日～ 2025年8月31日	学校運営に関する専門家
東洋医学系業界団体 副会長	2021年9月1日～ 2023年8月31日	業界関係者
株式会社 代表取締役	2021年9月1日～ 2023年8月31日	卒業生

株式会社 代表取締役	2023年9月1日～ 2025年8月31日	業界関係者
東洋医学系業界団体 顧問	2021年9月1日～ 2023年8月31日	業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.nihonisen.ac.jp/school/evaluation.php		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310400097
学校名 (〇〇大学 等)	日本医学柔整鍼灸専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 敬心学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		24人	23人	30人
内 訳	第Ⅰ区分	17人	16人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				30人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	-
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	-		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。